

第3回学校運営協議会 議事録

日 時：令和4年11月15日(火) 15:00～17:00

場 所：和歌山工業高等学校 大会議室

出席者

(学校運営協議会委員)

田中 一壽氏 (和歌山商工会議所専務理事)

田中 資則氏 (元紀伊コスモス支援学校校長)

和田 通尚氏 (海南市立亀川中学校長)

前田 隆一氏 (本校全日制育友会会長)

高垣 晴夫氏 (本校同窓会副会長)

松本 泰幸 (本校校長)

(学校出席者)

宮本 裕司 (全日制教頭) 阪中 潤 (全日制教頭) 小島 穰 (地域連携担当)

吉田 庄吾 (全日制教務部長) 雑賀 慎哉 (学校評価委員会委員長)

吉村 太一郎 (定時制教頭) 坂口 佳隆 (定時制進路指導部長) 岡本邦孝 (定時制生徒指導部長)

【1】 開会

【2】 会長挨拶

人手不足のため従業員を確保したいが、生徒が求人に来てくれないという声をよく聞く。

そのような声があることを、次年度以降の進路指導に生かしてほしい。

今回は生徒との懇談があるので、生の声を聞くことができるので楽しみにしている。

【3】 校長挨拶 (松本校長)

日頃は大人目線での意見を伺っているが、今回は生徒からの意見を直接聞き、今後の学校運営のための意見をいただきたい。

【4】 議事 (議長：田中会長)

(1) 本校の教育活動について報告及び協議(松本校長)

校長より二学期の報告

■特別支援教育の観点を取り入れた教育実践

教育相談室の人員を1名増員して、特別支援的な教育を実施している。

米田先生による定期的な指導を受けている。今後は定時制でも実施を予定。

委員の田中氏より本校職員に向けた研修会を実施した。

特別支援的な係を設置したので、各職員の力量を高め、校内での活用を促進する必要がある。

■和工ハウスプロジェクト

199 作品がコンペに応募し、入賞作品が決定した。

学校全体がわくわくするための取組みとして実施したが、わくわくを持続させる必要がある。

実施のための設計や資金・材料調達などを通し、社会とのつながりを持たせる必要がある。

■新たな工業教育に関するワーキンググループ

大学進学を念頭に、数Ⅲ導入について検討中である。

大学との連携、企業との連携が必要である。

【生徒との懇談】

学校生活に思うことを題材に約 45 分間、各グループ(生徒 3 名+委員)で討議

(生徒意見)

学校は基本的に楽しい。

LGBT の視点から考えて、今の校則は正しいか考える必要がある。

工業にはいろいろなジャンルがあり、自分の長所・短所を発見できた。

真面目な生徒ややんちゃな生徒がおり、人間関係が難しい。

実習は楽しいが、座学はしんどい。

(委員意見)

自分の思いを言葉にして伝えることができると感心した。

座学に興味を持てるよう、プロジェクターの活用やプリント類のデータベース化が必要では。

(校長意見)

学習指導の充実や授業規律の確立は大前提である。

拠点校として教育レベルをあげる、生徒指導のラインを明確化する必要がある。

(2) 第 4 回の内容について

1 月 31 日(火)15:00～実施予定

本年度の総括 次年度の方針について協議

【4】 閉会

会長および校長挨拶

【5】 定時制の授業参観

希望者のみ参加